



岡島 政信 議員
OKAJIMA Masanobu

一斉更新した設備は、修繕費の平準化の観点からも、段階的な更新を行うべきである。

空調設備は計画的更新を

Q 耐用年数の到来に伴う故障リスクの集中を回避するため、段階的に更新を行う計画は検討しているか。

A 学校施設改築・長寿命化計画では、施設整備の水準として、空調設備の更新のタイミングは20年としている。段階的更新計画は、現段階では検討していない。

Q 社会教育施設の空調設備の故障状況やその分析の把握は。

A 現在、新栄学習等供用施設の室外機1台が故障しており、早期に改修したいと考えている。今後も空調機の故障が発生した場合には、随時修繕を行うことを基本として対応する。古く修繕ができないものは、順次更新していくことを検討する。

南館ひまわり浴室の整備は

Q 実施設計完了後に工事を見送った理由は、今後の方針は。

A 町全体の事業を精査し、財政状況や優先度などを総合的に検討し、改修工事着工を見送った。

今後は、特定の用途に限定しない部屋型の整備を行う考えであり、撤回したものでない。趣旨を踏まえ、工事の実施時期を判断する位置づけで考えている。

Q 整備が進まない間、どのように活用するか。

A 浴室部分工事実施まで利用方法や安全面を配慮し、検討していく。またエントランスホールなどを含め、世代を問わず気軽に立ち寄れる空間として活用の検討も進めていく。



ひまわりの
エントランスホール



大口 司郎 議員
OGUCHI Shiro

施設の改修計画、老朽化対策を後回しにしないよう、方向性を明確にして欲しい。

学校・福祉施設などの老朽化対策は

5年前の町長選挙時の新聞報道の通り、公共施設の老朽化は未だ喫緊の問題であり継続しているということから、小中学校の生徒・児童の皆さんの学校での生活環境が改善されるようにトイレの改修などについて質問してきた。

Q 50年ほど経過した、旧耐震基準で設置された小学校の受水槽の老朽化対策は、改修計画はあるのか。

A 受水槽は、適切に維持管理を行う。老朽化対策、耐震化は、防災対策全般のバランスや施設更新時期などを見極めながら取り組む。

Q 小・中学校の外壁剥離や屋外非常階段など具体的な改修計画は。

A 令和8年度は新栄小学校において令和9年度工事実施に向けた外壁・屋外階段などの修繕のための調査・設計を行う予定である。

Q 中学校の体育館の空調整備の空調効果はどの程度のものか。

また、小学校の体育館の空調整備はどのように考えているか。

A 中学校体育館は、工事に向けた設計を進めている。

小学校は、令和8年度に実施設計、令和9年度に全ての小学校の講堂体育館に空調を整備したい。

Q スカイプールの再開を延期しているが、再開についての具体的な計画はあるのか。

A 令和元年度の現況調査から6年が経過している。令和8年度改めて現況調査を実施し、再開についての具体的な計画を検討する。

